

全大教非常勤職員交流会2017に参加して

東北大学の実態を全国にアピール

多元研支部 後藤洋子さん

去る9月9日10日に

京都大学吉田キャンパスで開催された全大教主催の「非常勤職員交流集会」に参加しました。

参加者は32大学・3高专、報道関係者などを含んで70名あまりの参加者で会場が埋まりま

した。始めに名古屋大学の

和田肇先生による「国立大学における非常勤職員の無期転換問題」という題で学習会を行

い、労基法14条、18条、19条そして名古屋大学の事例をもとに20条の解説があり、その中で

国立大学非常勤の多様な雇用タイプ、全員の非常勤職員の無期転換を困難にしている事情、仮に無期転換しても整理解雇問題を回避できるケースなどについての講演がありました。引き続きレポート発言として東

開会挨拶する全大教の中富委員長



北大、東京大

総長あてに公開質問状を提出し

10月末までに回答を求めています

① 東北大学は学問の府として、法令順守に関しては社会に対し正しい規範を示すべきであり、法の趣旨を潜脱するような行為を行うべきではないと考えられますが、如何お考えでしょうか。

② 限定正職員になる以外には5年以上の雇用を認めない現方針のもとで、現場で起こっている混乱をどのようにお考えでしょうか。

③ 現方針のままでは、今後ますます、東北大学に有能な人が集まることを阻害する効果を及ぼすと危惧されますが、それについてどのようにお考えでしょうか。

4種類のチラシを作成し広報しています

准職員 時間雇用職員のみならずへ

名古屋大学では非正規職員の無期転換が実現。実現の力ギは、組合でみんなの力を合わせること。勇気を出して組合に入り、私たちの雇用生活に家族を守りましょう。

正職員のみならずへ

私たちが法律どおりの無期転換を求めるのは、働く人を大切にする大学を望むからです。

おぼやけが注目の社会問題

東北大の大量雇い止めの理不尽さ 違法の恐れを新聞が大きく報道。

Webジャーナル記事に大きな反響

「雇用崩落」の大問題。 東京大学、東北大学・・・国立大学で進む

無期転換のたたかい



名古屋大学では 非正規職員の無期転換が実現 東北大学でできない理由はない